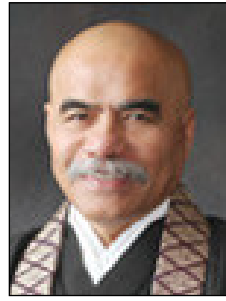




本派本願寺羅府別院 輪番法話



輪番 ウィリアム ブリオネス

「永代経法要」

十一月になりますとここ北米では、お西の多くのお寺で永代経法要がお勤めされます。永代経は永代読経を縮めたもので、亡き人に代わり永代に渡って読経、つまりみ教えを伝えていくことを意味しています。

最近になってこの永代経法要についてよく分からないというお声を門徒の方から聞くようになりました。特に誰のためにこの法要をお勤めするのか、という疑問であります。別院では永代経法要に併せて、永代経基金が設立されています。多くのBCAの寺院でも同様の基金が設立されています。この基金は仏法聴聞の場である寺院を永きに渡って維持していくために必要な経済的安定を願ったものでした。

永代経基金の用途については制限がありません。まず原則として元本には手をつけず支出は利息の範囲で行うこと。緊急の事態によって元本を使用した場合は、速やかに同金額を基金に戻すこと、などです。またその用途については法要など仏事に必要な物の購入に限られ、蠟燭やお香、仏具、そして僧侶の法衣などに使われてきました。

この基金はご遺族からの御懇志によって始まり維持されています。ご遺族が永代経基金へのご寄付を希望された場合、亡くなった方のお名前が内陣に備えられており

L.A. Homba Hongwanji Buddhist Temple 815 E. First Street Los Angeles, CA 90012 Tel: (213)680-9130 Fax: (213)680-2210 E-mail: info@NishiHongwanji-la.org Website: www.NishiHongwanji-la.org

まず永代経本に記されます。この本はカレンダーのようなもので、ページが日ごとに分かれており、亡くなったお日にちにその方のお名前、法名、院号が記載されます。毎朝九時に勤められる晨朝ではその日のページが開かれます。記載されている方の中にはご家族がすでにいらっしゃらない方もおられます。ご遺族の有無に関わらず、この別院がある限りこのお勤めは毎日続けられます。

また別院ではご遺族に永代経法要へのご参詣を勧めしております。二〇一六年三月からは毎月第二日曜日の午後一時より月毎の永代経法要がお勤めされるようになりました。ご遺族には一ヶ月前にお知らせが届くようにさせていただいております。また寺報にも故人のお名前の一覧を掲載しております。お名前を公にすることで、ご遺族はもとより、ご親戚やご友人にもお参りいただけるようになります。残念ながら新型コロナウイルスの流行に伴い、昨年四月から本堂に参集していただきお勤めすることは自粛せざるを得ない状況となっております。現在はオンラインでのお勤めを行っております。亡き人をご縁として一人でも多くの方に仏法に出会っていただきたいと思いますから願っております。

永代経基金について、もう一つ多く寄せられる質問があります。それが院号との関係であります。

(二面へ)

【各ページ案内】

- 一頁 総合
二頁 「この話ご存じでしたか」
三頁 法話・コラム
四頁 弔意・感謝録他

【新型コロナウイルス感染症に関する対応について】(十月十三日 現在)
現在、羅府別院では日曜礼拝等の主だったお勤めはZoomにて配信しております。只今、州内の感染状況を検証し直し、通常のご参拝の再開に向けて準備中です。最新のお知らせは、日曜礼拝のアナウンス時にお知らせ致します。Zoomのご参拝をご希望されます方は、NishiDharmaCenter@gmail.com までご連絡ください。
尚、屋内でのお葬儀、法事、還骨式の際は、各自、ワクチン接種証明書必ずご持参ください。御質問等のお問い合わせは、寺務所までお電話、もしくはEメールにてお尋ね下さい。合掌



【十一月・十二月及び年始のご法縁のご案内】
◇ウイルスにより、内容を中止・変更する場合がございます。
永代経祥月法要(於 オンライン)
十一月十四日(日) 午後一時
永代経法要(於 オンライン)
御講師 松林 ジョージ 師(元羅府別院輪番)
十一月二十一日(日) 午前十時
成道会(於 オンライン)
十二月十二日(日) 午前十時
永代経祥月法要(於 オンライン)
十二月十二日(日) 午後一時
お歳暮大会(未定)
十二月十九日(日)
除夜会(於 オンライン)
十二月三十一日(金) 午後六時
修正会(於 オンライン)
一月一日(土) 午前十時
BEC仏教法話会「Contemporary Issue and Jodo Shinshu Perspective」(於 オンライン)
水曜日 夕刻 不定期
BEC仏教法話会「安心論を学ぶ」(於 *ハイブリッド)
九月二十三日から十一月十八日迄 隔週木曜日 午前十時
BEC仏教法話会「歎異抄に聞く」(於 *ハイブリッド)
十一月、十二月の第三土曜日 午前十時
BEC仏教法話会「The Hongwanji Temples in North America and Hawaii」(於 *ハイブリッド)
十一月六、十三、二十七日(土) 午前十時
日曜礼拝(於 オンライン)
毎週日曜日 午前十時
別院お休み
十一月二十五、二十六日 [Thanksgiving]
十二月二十四、二十五日 [Christmas holiday]
一月二日 [New Year's Holiday]
*ハイブリッド...ご参拝(受講)をZoomか西別院の屋内でお選べ頂けます。
屋内をご希望の方は、ワクチン接種の証明書をご持参ください。
本派本願寺羅府別院

羅府別院理事長より皆様へ
2021年があつという間に過ぎてしまいました。はたまた、私がかた歳をとってそう感じているだけなのかもしれません。本年は思うようにいかない事が続きましたので、それに対する焦燥感日々感じておりました。その分、来年の2022年は、良い年にしたいと願っています。
しかし、ほんの少し良くするだけではなく、大きく良くしたいと考えています。果たして、この私の願いは過ぎたものでしょうか。私はそうは思いません。私生活でも別院の場に於いても、私にとっては感謝しき



理事長 田端 パメラ

改めて、私に羅府別院の理事長の職に就く機会を与えて下さった全ての方々に感謝申し上げます。御承知の通り、私は長年別院に携わらせて頂きました。その過程では、数多くの開教使たちが私たちの別院の門をくぐっていききました。パンデミック前までは米国仏教団代表者会議は屋内での開催でしたので、同席されていたその開教使たちと再会ができて、先生のご家族とお話ができて、お互いに笑い合い、時にはビールを酌み交わして同じ時を共有できたことは、幸運なことだったと振り返ります。
新しい年を迎えられることに感謝しつつ、再び皆様とお顔を合わせることのできるその瞬間がやってくるのを心待ちにしております。合掌

【この話ご存知でしたか】増山栄子

かつて北セントラルアベニュー119番地にあった西本願寺仏教会は、1925年に高野山大師教会の隣に建てられまし...

高野山の旧寺院が取り壊されて第二次世界大戦が終わった後、敷地はトム工藤の駐車場になりました。そこは、1947年7月19日と20日にロサンゼルスYBAが主催した戦後...



父、工藤 ゆきおに抱かれています。ダイアン ゆきえ 工藤。北セントラル通り沿いのフェンスを背に工藤の駐車場で。通りの向かい側には倉庫から積み荷を移すドックが見える。1949年の撮影と思われる。写真提供ダイアン おだわ。

トム工藤のご息女、アーリーン 工藤 なかむらの思い出

「駐車場のことはあまり覚えていません。...実際には、駐車場はロサンゼルス警察(LAPD)の通りを下ったセントラルにある西本願寺の隣でした。...駐車の名前は思い出せませんが、父は所有していませんでした。彼はその土地を借地契約で借りていただけで、LADがその土地の返還を望んだ時は、彼は土地をあきらめる他には選択肢がありませんでした。」

「私たちはみんな幼かったです。私は駐車場がそれほど大きくは知らなかったです。私たちはいつもそこを走り回っていました。私たちは西本願寺に行くと、そこから駐車場の隅々まで見ることができました。そこは楽しくて安心して来た時間でした。西の窓から見たので、ファー・イースト・カフェへの行き方を知りました!」

アーリーン 工藤 なかむらの従妹、なかむらゆきおとアリス 工藤のご息女、ダイアン 工藤 おだわの思い出

「私はその駐車場で、母と一緒にたくさん写真に写りました。それらは今でも持っています。一才半か二才の頃、母が作ったと思われるギンガムチェックのスカートは私を着ていました。私の父ゆきおと、もう一人の弟、いさお(トム工藤の弟)は駐車場をよく手伝っていました。それがおそらく私がそこにいた理由だと思います。」

ロサンゼルス市が西の隣の駐車場を引き継いでLAPDのガレージにしました。青山の木はまだ正面に生えており、コンクリートの歩道に大損害を与えました。そして、そのガレージは再び駐車場へと戻されて、2005年に駐車場の一部の区画は旧西の建物の増築部分になりました。尚、建物は1969年から市が所有しています。現在は全米日系博物館、他最近できたお店や民主主義維持センターに賃貸されています。

「西別院博物館基金」 別院時報 1992年11月1日

全米日系博物館は、長年かけた別院の古い建物の復旧計画と作業を経て、今年4月に開館しました。私たちは別院の一員として、この見事な遺産を私たちに与えてくれたことに對する彼らの誇り、献身、そして喜びを共に分かち合いたいと思います。私たちの古いお寺を博物館の場所として選んでくれたことに感謝しています。私たちの寄付が博物館の記念の壁の一部になることを嬉しく思います。

西別院博物館基金は1990年に発足し、個人やお寺などのグループとして119名の寄付者がこの基金に協力しました。一万ドルの支援誓約は、現在3500ドルの残高があります。この基金への寄付は大歓迎です。すべての寄贈者の方々の寛大なご寄付に感謝したいと思います。寄付をされた全ての方が、ロサンゼルス本派本願寺

の一世の先駆者たちの献身的な遺産を記念することの一部になれることに対して誇りを持って欲しいです。

チェリー 沖本 会長

「デビッド なかもと率いるジュニアYBA」別院時報 1972年11月3日

別院ジュニアYBAは今年、デビッド なかもとを会長にした評議員を発表しました。パメラ たかた(副会長)、ジャニス(書記)、ジョイス みやさき、キャシー ますだ(広報)、スーザン みなと(会計)、レイン おち(宗教)、シャーリーン なかさと(年代記録)、マーク おうね(男子運動部)、シエリル おきの(女子運動部)、ラッセル わき(評議法規)、しず おき夫人、ジョージ松林開教使(顧問)、以上。



ジュニアYBAと顧問たち、【上左写真】1969年 一列目(左から右へ): クライドかねこ、グレンほんだ、けんじおた、ゲイルやまもと、ジャネットしみず、キャシーおかの、シャーリーンおたに、ティーンながもと、ゲイリー宮武、ダグラスせら。 二列目: しぐさきもと、(不明)、(不明)、ロリーみずの、土網開教使、三升岡輪番、クライドいわた、デボラやまもと、アーリーンわたなべ、テリージーンみやかわ、としえながた。 三列目: アーリーンさだもと、ともこおきた、(不明)、スージーふると、けいこおだ、リンドワキ、かずよくろすみ、シエリルすぎもと、フェイスさかにわ、エイミ宮川、みやもとまさえ、ダイアンたなか、せつこいわた、ミッツさかにわ。

最新情報: 西ジュニアYBAは、勤労感謝記念日の週末にアリソナ仏教会が主催したインターネット上のVirtual Southern District Jr. YBA 大会で、Religious Award(旧 Dharma Award)のトロフィーを獲得しました。共同で会長を務めるジェナ おとひら、ミシェル いとむら、ブラッドリー たしろ、そして2021年の宗教委員長であるサミ はやしがこの賞を受賞しました。彼らは昨年度もトロフィーを獲得しており、当時はブラッドリー たしろが会長、サミ はやしが宗教委員長としてリーダーシップを発揮しました。おめでとう!!! 顧問はテリーいとむらと、みちチャベスです。ご婦人方、ありがとうございます!

敬具 栄子 (翻訳 伊藤千鶴子)



西ジュニアYBAが獲得したReligious Awardのトロフィー、2021年

(一面の続き) 院号とは日本では元来貴族階級の人々に死後与えられる尊号でした。江戸時代には、僧侶や寺院に貢献した門信徒に送られる称号となりまし。西本願寺では本山のみがこの院号を授与できることになっており、寺院護持に尽力された方に送られます。一方BCAにはこの院号授与に関して独自の規定があります。故人への院号授与は、その人が所属していた寺院の駐在開教使と理事会によって推薦され、その要望が総長に送られます。総長は本山にその要望を伝え、本山から院号が送られます。

別院もこの規定に則り院号の授与をおこなってきました。けれども、一九二九年に始まった大恐慌時代、別院もその影響を受け未曾有の財政的苦境に立たされました。別院は本山に支援をお願いしましたが、当時は日本も非常に厳しい状況でした。そこで本山は直接的な金銭援助の代わりとして、当寺院が一九三一年に別院に昇格したのを機に、輪番に院号を授与することを認め、永代経基金に御懇志いただいた方への院号授与が始まりました。現在でも、本山以外で院号を直接授与しているのはこの別院のみです。こうした背景とご門徒の支えにより永代経基金が設立され、別院の強固な財政基盤となっているのです。

別院では毎月の永代教法要に加えて、年に一度合同の永代経法要もお勤めされています。永代経法要を通じて、先を生きられた多くの方のご恩を受けて今こうして生かされていることに私たちは改めて気付かされます。仏法が後の世の人々にまで伝わりますように、という真摯な願いのおかげで、私たちはこうして仏法聴聞ができるのです。そのことに深く感謝し、いよいよ聞法に身を据えていくことこそ、「永代読経」の真の意味ではないでしょうか。

永代経法要は亡き人から深いご恩を受けた私たちがそのご恩に報いていくご縁であります。そしてその報恩とは「亡き人のために」お経を勤めることではなく、自らの身を通して、仏法とそして先達の願いを次の世代に伝えていくことだと思っております。

今年の年に一度の合同永代経法要は十一月二十一日(日)午前十時からとなっております。松林ジョージ師の御法話を日英両語で聴聞いたします。なお現在のところ松林先生はオンラインでの参加をお願いしております。一方、御門徒の皆さまには本堂でお参りしていただくことも考えております。詳細につきましては別院寺務所までお問い合わせください。

永代経基金の願いに賛同しご支援いただける場合は寺務所またはブリオネスまでぜひご連絡ください。このお寺が永きにわたって聞法道場として教えを伝える

ことができませう、皆さまのご理解とご支援をどうかお願い申し上げます。 南無阿弥陀仏

【浄土のことば】「除夜の鐘」

除夜の鐘は、一年の最後の晩にお寺で突く鐘のことです。花祭りと同様に、仏教の宗派を問わず、広く各地のお寺でこの行事が行われています。

一般的に除夜の鐘は、大晦日の夜に鐘を突くことで煩悩を取り除き、清らかな気持ちで新春を迎えることが目的とされています。日本では老若男女問わず、年越し前にお寺で鐘を突いてからその足で神社の初詣に向かい、神様に「ご挨拶してからおみくじを買って、その年の運勢を占うのまでが一つの習慣になっていきます。つまり、お寺で旧年の汚れを落とすとして気分を一新して、神社で新しい年の行方を予想してもらおう感じでしょうか。

日本人の感覚では、一年が終わると共に前の年がリセットされるので、真新しい一年がやってきます。除夜の除という漢字を辞書で引くと、「古くなって邪魔になったものを押しつけて、新しい状態にする」、「古い時間が去り、新しい時間が来る」と説明があります。こういう一旦巡ってまた戻ってくる構造を円環と言います。

仏教で円とは、欠け目が無い完成されたという意味です。念仏者がお浄土に往って還ってくるのは縁起の円環的構造と言えらるでしょう。それは、阿弥陀様のおはたらきが完成されていることを意味します。これで終わりではない新たな事が、終わった後にやってくるのです。

「法味楽」味わう×楽しむ＝仏教



驻在開教使 村上 響

「心を奪われた行為」

自分がそのものになりきるといえるのはどういいう感覚だと思いますか。これは体験のお話です。例えば誰しもが幼少期には学校で演劇をして、与えられた役を演じた経験があると思います。その役で舞台上に立つ時は、そこに居るあなたはあなたではなくて、舞台上立つ人物はあなたを通して存在する架空の誰かです。あなたはその役を演じる為、覚えた台本を読み、指示された動作を舞台の上で行うわけですが、だからこそ一層自分を離れて役に没頭しなければ、演じられる役は舞台に存在することができず、傍からは大根役者と評されるかもしれません。

自分が何かを演じることで、その者になりきるといふ行為は日本のサブカルチャーの場面で、実は見かけます。オタクと呼ばれる人たちが、自分が推しているアニメのキャラクターの衣装を身にまとい街を練り歩くコスプレという行為は、ある種そういった演技だと私は思っています。

数年前、私は東京でテクノ法要(※真宗のお坊さんが創作した、お内陣の荘厳に光を当てて、音楽を付けたお勤め)に出勤する機会を得て、ニコニコ超会議というイベントに参加していました。このイベントを一言で形容するならば、大人の文化祭、もしくは学園祭というのが近い表現かもしれません。実際の文化祭がそうであるように、会場を適当に歩けば色々な衣装を身にまとった人たちがたむろっていて、会場には最新のアニメから日本の伝統芸能の歌舞伎に関するブースまで、幅広い展示物が並びます。

あるいは奇天烈とも見えなくもないこの景色の中でも、ひと際異彩を放っていたのがアニメのコスプレをしていた人たちです。当時、私はテレビを通してレポートのインタビューに答えるコスプレの人たちしか見たことがありませんでした。言ってしまうえば、インタビューを受けていたのはキャラクターを演じる前

の人物なので、その時点ではレポートの質問に答える人が映っていただけです。

しかし、会場を歩く群衆の中には、ただ衣装を着てただけではなくて、キャラクターの身振りや動きの癖まで再現して歩く人たちがいました。実際に完成度の高い人のコスプレを間近で見ると、「本当に漫画からそのまま出てきたのかな」と一瞬躊躇したくらいです。その時の私の感覚は、アニメに出てくる架空の人物たちと肩を並べて会場を歩いている気分でした。もちろん、その人たちはOやプロの俳優とかではない一般の人たちです。存在しない人物たちが私と同じ世界線に立っていることは違和感のほずなのに、一方でそれに違和感を覚えなかったのも事実。本人がそのキャラを没頭して演じているからこそ、見ている私は自ずとそう感じたのかもしれない。

コスプレに限らず、演劇で役を務めたり、時にはお経を読むことでさえ私たちは没頭します。不思議なことに誰かに没頭「される」ものは、時々、その人物を追い越して自らを表現し始めることがあります。映画で俳優がある役を演じて、俳優亡きあともその役の人格が独り立ちするようなもので、イメージが現実の世界で存在感を持ち始めるのです。

では、演じる側の心境は如何なものでしょうか。その答えは、私は無我夢中だと思えます。「我を忘れてゝする」とか「から我に返る」と言う表現がありますが、この「ゝ」に入るものは少なくとも私ではない何かが当てはまるはずなんです。

お念仏を称えることでも無我夢中を意識してみると、いつもと違って聞こえませんか。合掌



【写真上】1992年、お歳暮大会で発表(?)をする子供たち【写真下】1992年、除夜の鐘を突く先生



1990年、一階のキッチン前での餅つき



【上写真】テクノ法要の勤行。筆者は右から三番目に座す。【下】ニコニコ超会議で、司会を務めるテクノ法要の発起人、朝倉行宣師。(左、白の色衣)

